

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理細胞検査学Ⅰ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	星野 ちなみ ※
授 業 概 要					
病理細胞検査学は、病気の最終診断、治療方針の決定、患者予後推定などに関わる分野である。種々の病態での形態変化、病態解析のための検査方法を理解し、正確な病理診断がなされるための検査知識を修得する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・病理細胞検査の意義を理解できる。 ・組織標本作製法について理解できる。 ・基本染色法と各種特殊染色法を理解できる。 ・病態解析のための染色法を理解できる。 					
実務経験のある教員					
星野ちなみ：病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作製方法、染色の方法について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
	<u>組織診検査法</u>				星野 ちなみ ※
1	病理組織学的検査法：意義、概要（組織検査・細胞診検査の意義と検査）				
2	組織標本作製法：切り出し、固定法				
3	組織標本作製法：脱灰法、包埋法、薄切法、 凍結切片標本（迅速検査標本）作製法				
4	染色法概論				
5	染色法各論：基本染色（ヘマトキシリン・エオジン染色）				
6	染色法各論：膠原線維の染色法				
7	染色法各論：弾性線維の染色法				
8	染色法各論：細網線維の染色法				
9	染色法各論：多糖類の染色法				
10	染色法各論：脂質の染色法				
11	染色法各論：核酸の染色法、アミロイドの染色法				
12	染色法各論：組織内無機物質の染色法				
13	染色法各論：生体内色素の染色法、内分泌細胞の染色法				
14	染色法各論：組織内病原体の染色法				
15	染色法各論：神経組織の染色法				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配付資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配付資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版株式会社 [資料] 配付資料					